



「見たり、聞いたり、探ったり」No.277

通算 No.428

青木行雄

中国返還「ジャイアントパンダ」

(令和5年2月21日 上野動物園)

(令和5年2月22日 アドベンチャーワールド)

上野動物園(東京都台東区)のジャイアントパンダ、シャンシャン(メス5歳)が2月21日と和歌山・白浜、アドベンチャーワールドから2月22日、それぞれ中国へ返還された。上野がシャンシャンの1頭と和歌山からは3頭の計4頭の返還である。

上野動物園ではこれまでに7頭が生まれ育ったが、「返還」されるという事はなぜか、知りたい所である。

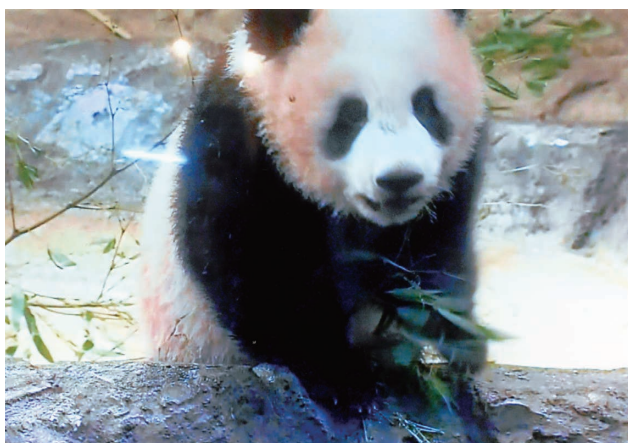
シャンシャンは2017年(平成29)6月、中国から来た父親リーリーと母親シンシンの間に生まれた。上野では1988年(昭和63)のユウユウ以来、29年ぶりに順調に成長した赤ちゃんだった。

リーリーとシンシンは中国から貸与されており、東京都と中国との協定ではその子のシャンシャンの所有権も中国にあった。

「2歳になったら中国への返還日を決める」という約束だったという。

2歳になる2019年(令和元)は東京五輪・パラリンピックが控えており、中国側との交渉の結果、返還は2020年(令和2)12月に変更されることになった。しかし新型コロナが流行し、国家間の移動が困難になった。その後5回もくりかえし延期となり、今年の2月となったという。

上野生まれのパンダが中国へ渡るのは、1992年(平成4)にユウユウが繁殖のために北京動物園へ行っ



中国へ行かれた「シャンシャン」の上野での最後にお別れの日



「シャンシャン」のなんとも悲しそうな様子に見える



白浜のアドベンチャーワールドから中国に行った「エイメイ」。人間なら90歳と言うが元気ようだ



2月19日に上野につめかけた、お別れの人々



大勢のお別れに来た人々でいっぱいである



お別れの様子

て以来となる。ただ、ユウユウは中国から贈与された両親から生まれており、所有権は日本にあった。ユウユウが中国に渡ったのは、中国のパンダ、リンリンとの交換という形だった。

シャンシャンは、中国が原則としてパンダを有償貸与に切り替えて以降、貸された両親から上野で生まれて中国に行く最初のケースとなった。貸与で来た両親のリーリーとシンシンは当時、2頭で年95万ドル(1億円前後)をパンダの「保護資金」として中国側に支払うとされた。いわゆるレンタル料である。都は「守秘義務がある」として現在の費用も明らかにしていないという。

返還の狙いは何か。

上野動物園など日本が中国からパンダを借りる目的は繁殖研究とされる。パンダは絶滅の危機にあり、日中共同で保全に取り組む。

シャンシャンが中国に渡るのは、個体数が多い中国でオスのパートナーを見つけ、繁殖を目指すためだといわれている。

園によるとシャンシャンは今年の1月末、初めて発情が確認された。性成熟を迎え、繁殖が可能になったという。日本での繁殖はむずかしい。現在国内にいる大人のオスはシャンシャンの父親リーリーとアドベンチャーワールドにいる高齢のエイメイだけだとい、そのエイメイもこの22日に中国に返還された。

シャンシャンの行く先となる中国の施設は四川省にあり、パンダにとって本来の生息地に近い環境で



上野動物園を出る、シャンシャンを乗せたトラック。これから成田空港へ



「シャンシャン」が中国に行くために箱詰めに



成田空港で飛行機にのせられたシャンシャンの作業の様子



シャンシャンを乗せて中国へ離陸した飛行機

過ごすことが出来る。上野動物園の担当者は「シャンシャンが中国に渡るのがベストだと考えている」と話したという。

最終観覧日となった2023年(令和5)2月19日上野動物園に多くのファンが詰めかけた。最終観覧枠100人の抽選倍率は約70倍になった。観覧客からは「ありがとう」「バイバイ」等の声が飛び、涙を浮かべる人も多かったという。午後4時半すぎに飼育舎のシャッターが下りた。

シャンシャンは2017年(平成29)6月、母のシンシンと父のリーリーの間に生まれた。同園で自然繁殖から順調に成長したパンダは初めてで、同年9月に命名されて人気を博した。最終観覧枠で最後の100番目に観覧した東京都の方は「シャンシャンは唯一無二の存在で、いなくなるのは悲しい。いつか中国に会いに行きたい」と別れを惜しんだと新聞に記事があった。

この日の観覧枠の当選者数は2600人、事前抽選の倍率は24倍の狭き門だったらしい。

抽選に外れた厚木市の50歳代の主婦、この記事も新聞で見た文だが、パンダのぬいぐるみを持ってパンダ舎周辺を訪ね、「シャンシャンのために年間パスポートを買って、5年間で約280回会いに来た。別れるのはさみしいが中国で幸せになってほしい」とこんな熱心なパンダファンもいると聞いて感心する。

シャンシャンは、新型コロナウイルスの影響で再三延期されてこの2月21日に成田空港から出国し、同夕方に中国の成都双流国際空港に到着、中国ジャイアントパンダ保護研究センターで検疫を受け、飼

育施設へ移動した。

2月19日夕、上野動物園、教育普及課長の大橋直哉さんは「同園で生まれたパンダが返還に至るのは初めて。中国側の信頼に応えることができうれしいと思う。シャンシャンは上野のシンボルだった」と感慨深げに話した。

日本のパンダは最初に日本に来たパンダは1972年（昭和47）東京・上野動物園のカンカンとランランである。日中国交正常化を記念し、中国から寄贈された。現在国内にいるパンダは全て貸与で、日本で生れた子も含め所有権は中国にある。

#### 上野動物園のパンダ ☆は上野動物園生まれ。

西暦	名前	
1972年（昭和47）来園	カンカン	1980年（昭和55）死亡
〃	ランラン	1979年（昭和54）死亡
1980年（昭和55）来園	ホァンホァン	1997年（平成9）死亡
1982年（昭和57）来園	フェイフェイ	1994年（平成6）死亡
1985年（昭和60）誕生	☆チュチュ	生後43時間で死亡
1986年（昭和61）誕生	☆トントン	2000年（平成12）死亡
1988年（昭和63）誕生	☆ユウユウ	1992年（平成4）中国へ
1992年（平成4）来園	リンリン	2008年（平成20）死亡
2003年（平成15）来園	シュアンシュアン	メキシコから来園、2005年まで在園
2011年（平成23）来園	リーリー	在園中
〃	シンシン	〃
2012年（平成24）誕生	☆オスの赤ちゃん	6日後に死亡
2017年（平成29）誕生	☆シャンシャン	2023年（令和5）中国へ
2021年（令和3）誕生	☆シャオシャオ	在園中
〃	☆レイレイ	〃

#### 上野動物園に今いるパンダは4頭

- 1 リーリー 12年（日本に来てから）
- 2 シンシン 12年 〃
- 3 シャオシャオ 2才（生まれてから）
- 4 レイレイ 2才 〃

和歌山・白浜の「アドベンチャーワールド」で2月22日中国へ返還された30歳のオス「エイメイ」は同園で16頭の子をもうけた。エイメイは1992年（平成4）9月に中国で生まれ繁殖目的で1994年（平成6）9月に白浜に来園した。2000年（平成12）7月に来園のメイメイとの間で6頭、2000年（平成12）9月に同園で

誕生したラウヒンとの間で2020年(令和2)11月誕生のフウヒンまで10頭の父親になっていて、「飼育下で自然交配し繁殖した世界最高齢のジャイアントパンダ」の記録を更新し続けているという。30歳は人間でいうと90歳くらいようだ。

これまでに子供11頭が中国に移動し、4頭が繁殖に成功するなど、孫やひ孫を含めて40頭を超えるという。今回この「エイメイ」と共に中国に帰った子供2頭「オウヒン」と「トウヒン」双子の娘、中国でパートナーを探して繁殖が期待される。

今回中国へ返還された「ジャイアントパンダ」について少々調べて記したが、中国にしかいないという「パンダ」、なんとも愛らしい動物である。上野でも今までになくなったパンダは8頭いるが、中国との共同で共に飼育が継続し、末永く繁殖が続けられる事を希望したい。

令和5年3月26日 記

#### 参考資料

日経新聞

朝日新聞

NHKテレビ